

世界約 80 の国と地域から選ばれた高校生が集結する化学の祭典 「第48回国際化学オリンピック・ジョージア大会」派遣生徒を決定!

トビリシにて、7月23日(土) から8月1日(月)まで開催

世界中から選ばれた高校生が集まり、化学の実力を競い合う「国際化学オリンピック」。このほど、今年7月23日(土)～8月1日(月)にジョージアのトビリシで開催される『第48回国際化学オリンピック・ジョージア大会』に出場する日本代表生徒4名と、次席生徒2名が決まりました。選ばれたのは以下の生徒です。

| | | |
|-------------------|------------|----|
| 秋山 茂義 (アキヤマ タカヨシ) | 筑波大学附属高等学校 | 3年 |
| 海士部 佑紀 (アマベ ユウキ) | 灘高等学校 | 2年 |
| 坂部 圭哉 (サカベ ケイヤ) | 海陽中等教育学校 | 5年 |
| 平 翔太 (ヒラ ショウタ) | 灘高等学校 | 2年 |

*4名のほかに次席として以下の2名を選出

| | | |
|------------------|----------|----|
| 鈴木 啓朗 (スズキ ヒロアキ) | 浅野高等学校 | 3年 |
| 光信 拓杜 (ミツノブ タクト) | 海陽中等教育学校 | 6年 |

※中等教育学校の5年生は高校2年生、6年生は高校3年生に相当します。

※第48回国際化学オリンピックの開催地は当初パキスタンの予定でしたが、ジョージアへ変更となりました。

「夢・化学-21」委員会と日本化学会では昨秋、「化学グランプリ2015」の成績優秀者19名および日本化学会支部から推薦を受けた3名の、計22名の高校1・2年生、中学3年生を、今年の国際化学オリンピックの“日本代表候補生徒”として認定しました。続いて本年1月5日に第1回選抜試験(筆記)を実施し、22名中11名を“日本代表最終候補生徒”として選出。そして3月12日(土)～13日(日)に芝浦工業大学にて二次選抜合宿を執り行い、実際のオリンピックを想定した筆記試験と実験試験によって上記の6名を選出しました。その後、2回の強化訓練合宿を通して最終検討を行い、ジョージア大会に派遣する日本代表生徒4名を決定しました。日本代表に選ばれた生徒たちは、この後も引き続き日本化学会の化学グランプリ・オリンピック委員会オリンピック小委員会(委員長:永澤明・埼玉大学教授)が実施する合宿を含む特別指導を受け、大会本番に向けさらに研鑽を積んでいきます。

◆ジョージア大会までのスケジュール

| | |
|------------------|--------------------------|
| 3月29日(火)～30日(水) | 第1回強化訓練合宿 (於:産業技術総合研究所) |
| 4月29日(金)～5月1日(日) | 第2回強化訓練合宿 (於:埼玉大学) |
| 5月21日(土)～22日(日) | 第3回強化訓練合宿 (於:福岡大学) |
| 6月25日(土)～26日(日) | 第4回強化訓練合宿 (於:京都大学) |
| 7月22日(金) | 代表壮行会 |
| 7月23日(土)～8月1日(月) | 『第48回国際化学オリンピック・ジョージア大会』 |



ジョージア大会
ロゴマーク

「国際化学オリンピック」は、毎年7月に10日間、約80の国と地域から300名近くの優秀な高校生が一室に会し、筆記試験と実験試験で化学の実力を競い合うと同時に、各国間での交流を深めることを目的に開催されています。2015年にはアゼルバイジャンのバクーで開催され、日本代表生徒は金メダル2個、銀メダル2個、という成績を収めました。

本件へのお問い合わせ先

日本化学会 TEL:03-3292-6164/FAX:03-3292-6318/担当:大倉、瀬田

「夢・化学-21」委員会事務局(日本化学工業協会内)

TEL:03-3297-2555/FAX:03-3297-2615/担当:鎌田/HP:<http://.kagaku21.net/>

<参考資料>

◆国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは？

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、毎年7月に約10日間開催される「化学」の国際大会です。各国、代表生徒を最大4名まで参加させることができ、近年では約80の国と地域から、総勢300名近い生徒が参加しています。生徒たちは、個人単位でそれぞれ5時間に及ぶ実験問題(Experimental Examination)と筆記問題(Theoretical Examination)に挑戦し、成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)が贈られます。また、大会期間中には、試験だけでなくエクスカージョンと呼ばれるプログラムが用意されており、その内容はスポーツやゲームから開催国独自の文化を体験するものまで多岐にわたっています。参加生徒たちはこれらのエクスカージョンを通じて他国の生徒との交流を深めていきます。日本は2003年のアテネ大会より参加しており、今年で14回目の参加となります。(国際化学オリンピックの詳細については <http://icho.csj.jp/> をご参照ください。)

◆日本代表生徒のこれまでの成績

| 開催年 | 回数 | 開催国／開催都市 | 金 | 銀 | 銅 |
|-------|------|----------------|---|---|---|
| 2003年 | 第35回 | ギリシャ／アテネ | - | - | 2 |
| 2004年 | 第36回 | ドイツ／キール | 1 | - | 3 |
| 2005年 | 第37回 | 台湾／台北 | - | 1 | 3 |
| 2006年 | 第38回 | 韓国／慶山 | 1 | 3 | - |
| 2007年 | 第39回 | ロシア／モスクワ | - | - | 4 |
| 2008年 | 第40回 | ハンガリー／ブダペスト | - | - | 4 |
| 2009年 | 第41回 | イギリス／ケンブリッジ | 2 | 1 | 1 |
| 2010年 | 第42回 | 日本／東京 | 2 | 2 | - |
| 2011年 | 第43回 | トルコ／アンカラ | 1 | 3 | - |
| 2012年 | 第44回 | アメリカ／ワシントンD.C. | 2 | 2 | - |
| 2013年 | 第45回 | ロシア／モスクワ | - | 4 | - |
| 2014年 | 第46回 | ベトナム／ハノイ | 1 | 2 | 1 |
| 2015年 | 第47回 | アゼルバイジャン／バクー | 2 | 2 | - |